



東京都議会議員 / 世田谷区選出

# 福島りえこ

## プロフィール

昭和46年世田谷区桜上水生まれ、世田谷区新町在住（最寄り駅は桜新町駅）。東北大学大学院理学研究科修士課程修了後、民間研究機関に22年勤務。平成29年より東京都議会議員（2期目）。会派政調会長代行、総務委員会理事、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員

都民の命と暮らしを守るために継続的に取り組んできた提案が、次々に実現しています。

## 「グリーンインフラ」と「マンション防災」についてご紹介します！

### 自然が持つ機能を街づくりに活かす「グリーンインフラ」の推進

近年、短時間に大量の雨が降るゲリラ豪雨が増えています。この雨水がいきなり貯水池や下水道（グレーインフラ）等流れ込み、その容量を超えて浸水被害になってしまうのは、都市化が進み地表がアスファルトに覆われているからです。

この浸水被害や、下水処理されないまま東京湾に流れ込むことで起きる水質悪化を、植栽や緑など（グリーンインフラ）を増やすことで軽減できます。

福島りえこは、緑のもつ「景観の美しさや癒し」に加え、「雨水浸透性や防火性」などの機能を街づくりに活かす「グリーンインフラ」を、東京都も積極的に導入するよう継続して働きかけてきました。



#### 令和元年7月 第5回都政報告会

九州大学教授（当時）の島谷幸宏先生と、世田谷区で「グリーンインフラ」を推進する保坂区長を招き、区民の皆様との勉強会を開催



#### 令和元年11月 平成30年度公営企業会計決算特別委員会

気象災害の激甚化に伴い、「グリーンインフラ」の視点も盛り込み「東京都豪雨対策基本方針」を見直すよう要望

#### 令和2年3月 令和2年予算特別委員会

村松一希議員の一般質問で、諸外国の取り組み事例を紹介するとともに「グリーンインフラ」を推進するよう求めたものの、「流域対策」として既に取り組んでいるとの答弁

#### 令和4年9月 総務委員会

関東大震災から100年を迎えるにあたり都が検討を進めていた「都市強靱化プロジェクト（仮）」に、「グリーンインフラ」の観点も加えるべきと質疑、「グリーンインフラの観点も踏まえて強化を検討する」とのはじめての前向き答弁

#### 令和5年3月 令和5年予算特別委員会

「TOKYO強靱化プロジェクト」に風水害対策として「グリーンインフラ」がキーワードとして追加されたことを踏まえ、「豪雨対策基本方針」の改定に反映するよう質疑、「グリーンインフラの趣旨も踏まえ、雨水流出抑制対策の強化に向け、都や地元自治体が管理する施設における取組なども含め、幅広く施策を検討」との前向き答弁

#### 令和5年5月 会派勉強会を開催

（現）熊本大学教授の島谷先生を招き、最新動向について学ぶ

#### 令和5年6月 令和5年第2回都議会定例会

代表質問で「グリーンインフラ」を取り上げ、知事より「グリーンインフラの活用や、都民や民間と協働した新たな緑の創出など、都市の緑化もまちづくりの核として捉え有識者の意見や海外諸都市の動向なども参考に、早急に議論を深めていく」との答弁



バイオスウェル  
道路脇の植栽を改良したもの



レインガーデン  
公園・校庭や自宅の庭などを改良したもの

#### 令和5年7月 都の重点政策方針に掲載

グリーンインフラで東京を持続性の高い魅力的な街にしていきます！

### 都民の命を守る「マンション防災」の推進

都内の7割の世帯は、集合住宅にお住まいです。都の防災施策において、マンション住民を対象にした取組を充実するべきと継続して訴えてきました。

#### 平成30年6月 総務委員会

「東京くらし防災」に、マンション居住者を対象にした情報が少ないという都民の声を紹介

#### 平成30年11月 文教委員会

マンション住人の町会・自治会加入率の低さを指摘

#### 令和2年 令和2年度予算

「東京防災アプリ」にマンション防災に関するコンテンツ追加が予算化



#### 令和4年6月 総務委員会

「首都直下地震等における東京の被害想定報告書」を踏まえ、マンション住民によるエレベーター閉じ込め救助訓練の周知を要望

#### 令和4年12月 令和5年予算に向けた会派要望

関東大震災から100年を迎えるにあたり、**マンション防災の強化を要望**

#### 令和5年6月 総務委員会

マンションに関連する質疑を通じて、**都が、防災ブックとともにマンション防災に関するリーフレットを全世帯に配布することを表明**



#### 令和5年6月 「東京とどまるマンション普及促進事業」開始

- 分譲マンション管理組合や賃貸マンション防災備蓄資器材の購入費用の一部を補助
- 補助率 2/3 ●上限額 66万円
- 主な要件
  - ・東京とどまるマンションに登録していること
  - ・購入した防災備蓄資器材を使用した防災訓練を実施し、その結果を報告すること
- 補助対象事業 防災備蓄資器材の購入に係る経費（飲料水・食料は対象外）  
（例）発電機、簡易トイレ、防災キャビネット、給水タンク、など
- 補助対象者 分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者

詳細はこちら



これを機会に、マンション特有の災害に対する備えを考えてみませんか？



# 国で進まない改革は、都で取り組みます

都議会第二回定例会 代表質問より

## 国制度の問題点 1

### 「年収の壁」



#### 背景

- 年収が一定額(103万円・130万円)を超えると税や社会保険料の負担が発生するため、パートタイム等でももう少し働きたくても、時間を制限することがある。
- 最低賃金を上げて、年収の壁を超えないように労働時間を調整するなど、働き手のみならず事業者からも課題が指摘されている。

#### 代表質問 都民ファーストの会東京都議団 村松総務会長

我が会派の提案を受けて都が設置した「東京くらし方会議」では、専門家から、「正社員の夫と専業主婦という家庭を前提とした社会保障制度が、暮らし方、働き方を固定化する要因になってきた」と指摘。現役世代では、共働き世帯が7割を超えており、現行制度は実態とかけ離れている。



こうした議論も踏まえ、女性活躍の後押しに向け国に対して提言する等、都が牽引して取り組んでいくべき。

#### 知事答弁 小池百合子 東京都知事



女性が自らの意欲と能力に応じて活躍することについて、我が国は世界に未だ大きな後れを取っている。

「東京くらし方会議」を立ち上げ、女性の活躍にとり課題となる制度や職場の実態を明らかにした。女性が力を発揮する上で、立ちちはだかる**年収の壁の問題などに関し、制度の見直しを検討するよう国に提言するほか、社会保障の正確な知識を提供して意欲的に働けるよう後押しをする。**

## 第12回都政報告会

### 「地域公共交通の課題と今後」

コロナ禍を経て、バスの本数が減った、タクシーがつかまらないなど、区内の移動にお困りの声をいただくことが増えました。

そこで今回の報告会では、地域公共交通をテーマに、専門家や区の職員のご協力もいただきながら、現状と今後の取り組みについて議論します。

お申し込み



#### 登壇予定者

株式会社  
トラフィックブレイン  
代表取締役社長  
**太田 恒平**



#### 登壇予定者

東京都議会議員  
**福島 りえこ**

## 国制度の問題点 2

### 「学校教員の残業実態」

#### 背景

- 小中学校の教員不足と、それに起因する教育や子供たちのサポートの質の低下は、深刻な状況になりつつある。
- 教員の待遇は、国の「給特法」により、月給の4%分を一律に上乘せする代わりに、残業代は支払われない。
- 残業実態はこの上乘せ分よりも遥かに多く、この結果、時間管理の軽視と長時間労働にもつながっている。

#### 代表質問 都民ファーストの会東京都議団 村松総務会長

国が給特法の見直しに着手したことは歓迎するものの、上乘せを10%に引き上げるという自民党案は本質的な解決策ではない。教育はコストではなく投資である。「労働時間の管理と、労働時間に応じた残業代の支払い」をセットで行う抜本的な改革を都として牽引すべき。



教員の長時間労働を抜本的に改善するために、業務の効率化や負担軽減等の取組を進めるとともに、教員の勤務実態に応じた処遇改善を国に求めていくべき。

#### 答弁 浜佳葉子 教育長

都内公立中学校では、ひと月あたりの時間外労働の上限としている45時間を超える教諭の割合が、49%に上り、改善が必要。国において検討が始まったところであり、**今後、教員の処遇改善について国と課題を共有するとともに、都として働き方改革を推進する。**



日時

令和5年

# 9月18日(月・祝)

18:00 開場  
18:30 都政報告会 開会  
20:00 都政報告会 閉会予定

会場

## 三茶しゃれなあどホール

会費

**500円**(資料代他として)  
(同時オンライン配信:無料)

ご意見をお寄せください。

■発行元/お問合せ  
都民ファーストの会東京都議団  
東京都議会議員

# 福島りえこ

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都議会議事堂5階  
TEL 090-8345-6086 FAX 03-4243-2721  
E-MAIL tomin1st.fukushima.rieko@gmail.com

E-mail QR

